

## 第5期麻生区区民会議 第9回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年9月4日（金）午後3時～午後4時10分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[委員]

岡倉委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、林委員

（欠席委員）上野委員、高橋（慶）委員

[事務局]

井上課長、白石担当係長、榎本

4 傍聴者 0名

5 配布資料

資料 1 各専門部会議事要旨

2 区民会議ニュース3号編集（案）【岡倉委員提供資料】

3 区民会議聴講者アンケート

参考資料

1 第8回企画部会議事要旨

6 議 事

（1）専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みたくなるまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1により第9回部会の内容について報告。第4回全体会議で総合計画素案について話があったが、横浜市営地下鉄の延伸や北口の再開発について、この問題が解決されれば麻生区の魅力につながるのではないかとの議論があった。子育てフェスタアンケートについては、若干修正があったが、基本的に全体会議に出したもので、実施予定。学生課へのヒアリングを行うが、学生までヒアリングを行える場合は、適宜行う。空き家の利活用について、多摩ニュータウンでも空き家が多く、市が仲立ちし、多摩大学と連携して横須賀市と同じように実施していることがあるため、参考にしていく。提言に向けては、今後、子育てフェスタでのアンケートの結果から、麻生区のPRしたい魅力を特定し、具体的にどのようにPRしていくか検討予定。

（主な意見）

・子育てフェスタアンケートにある「からむし」はイラクサ科の多年草で山野に生え、繊維原料として栽培もされてきた。麻生の名の由来は植物の「麻」にちなんだとする説から、麻生区文化協会の会報は麻糸の繊維を採った植物の名から「からむし」と命名されていると伺った。10年前

くらいには麻生区にもたくさんあったが、宅地造成で、減ってしまった。

- ・横浜市営地下鉄の延伸の問題が解決すると交通の便もよくなり、麻生区の魅力につながるのではないか。
- ・近年、少子化も進んでおり、大学等も教育の特色を出さないと経営が厳しい状態にある。
- ・大学生の子を持つ親から、麻生区は環境が良く、安心して住みやすいまちであるとの話も耳にしたこともある。
- ・大学生からの色々な意見が出てくれば、提言にも繋がってくるのではないか。
- ・東急などのように、小田急も地下鉄と繋がると、乗換なしで移動できるようになるため、交通の便がよくなるのではないか。
- ・提言に市民の声として、北口の再開発についても盛り込んでいくのはよいのではないか。
- ・田園調布や自由が丘のように、住宅街の中にお洒落なカフェがあつたりすると散歩して楽しいまちと感じる。→麻生区にもお洒落なカフェはあるが、点々としているため、田園調布や自由が丘のような雰囲気とはなっていない。
- ・学生が卒業後もどんな町なら、住み続けたいと思うのか。→麻生区は住宅が高いイメージがある。良い住宅であっても、高くて購入できなかつたりするので、リノベーションして安く販売すれば、需要はあるのではないか。
- ・若い人はベッドタウンから、都心のマンションに移る傾向があり、ベッドタウンには高齢者しか残らない。
- ・麻生区の魅力のPRの方法について、ある程度具体的に媒体や予算等についても考えていかないと提言しても実現性がなくなってしまうので、その点についても考えていく必要があるのではないか。

## イ 市民活動・地域活動の活性化部会

### 【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第9回部会の内容について報告。別所生涯学習支援課長より、地域人材育成連絡会議の進捗状況について、説明があった。地域人材コーディネーターの養成講座を開催予定であるが、まだ細かいところは決まっていない。「健康づくりのつどい」へのブース設置する上で、「目的」の検討を行った。ブース設置目的は、①健康寿命を延ばすというボランティア活動の魅力についてのPR②ボランティア活動等に関することについて来場者の声を聴く、の2点とした。手法については、アンケート形式やパネル形式など検討したが、アンケート自体は、市の方でも何度もやっているもので、結果は対して変わらないのではないかとこのことで、パネル方式で内容を検討していくこととした。また、今後の審議の参考として、麻生老人センター（いきいきセンター）への現地調査を9月10日に予定している。人が知ってから行動するまでの5段階の内、「調べる」から「体験する・関係づくり」の3つについて、次回部会で検討予定。

### (主な意見)

・ボランティア活動は、健康寿命を延ばすのに役に立つとの話があったが、根拠となる具体的なデータはあるのか。→日本老年学会の統計があり、読売新聞にも掲載されていた。「健康づくりのつどい」でのブース設置の時に、医学的なデータに基づいた形にするのがよいのでは。そのことが、

フォーラムにも繋がってくると思う。

- ・ボランティアをする人が増えれば、こんな社会になる等、ある程度の想定が必要ではないか。  
→地域包括ケアシステムを見据えた人材の育成等を検討していく予定。

## (2) 区民会議ニュース3号について

- ・岡倉委員から、資料2により区民会議ニュース3号編集案の内容について説明。
- ・区民会議ニュースの発行については、必ず全体会議に諮る必要があるのか。→企画部会に諮ればよい。ただし、発行が全体会議に近ければ、全体会議にも諮るようにすればよいのでは。
- ・発行のスケジュールを決めないと内容も決まらないのではないか。→区民会議ニュース3号については、11月印刷・12月回覧とし、区民会議ニュース4号は、1月印刷・2月回覧とすることとした。区民会議ニュース3号については、11月の企画部会で案を出し、全体会議に諮る。
- ・上記のスケジュールを勘案すると、区民会議ニュース3号の内容については、「子育てフェスタでのアンケートの実施と結果」「関係者からのヒアリング調査実施について」「麻生老人センターの現地調査について」「健康づくりのつどいの結果」「フォーラム開催の目途がつけば開催予定」「寄せられた意見についての回答」等を紙面のスペース応じて掲載していく。
- ・区民会議ニュース4号については、フォーラム特集を掲載できるとよいのではないか。
- ・フォーラムについて、提言に反映していくためには、スケジュールなども考慮していかなければならない。→2月頃にフォーラム開催するのがよいのではないか。フォーラムのやり方も様々考えられ、2部会合同開催か個別の部会か片方の部会だけで行うのか等が考えられる。次回の各部会で、フォーラムの方向性について検討していくこととなった。

## 7 その他

### ○区民会議聴講者アンケートについて

- ・8月21日の全体会議に寄せられた意見について。
- ①麻生区の魅力のブランド化とPRについては、意見として受け止め、検討していく。麻生区には、文化人も多く住んでおり、そこから芸術の文化のまちに至った経緯もある。
- ②区民会議委員に30代以下の方にもう少し入って頂きたいとのことであるが、平日の昼間に会議を開催していることや公募が少なく、団体からの推薦であると、どうしても年齢層が高くなってしまふ。ただし、色々な世代にアンケートなどで意見を聞いているので、30代以下の意見についても取り入れている。
- ・もし、子育て世代の親が区民会議委員になった場合、託児をつけることは可能か。→可能であると思う。

以上